

令和6年度 東海・北陸ブロック

老人クラブリーダー研修会

～のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを～



福井県立恐竜博物館(勝山市)

50体の恐竜の全身骨格や化石、ジオラマ、復元模型等の展示

と き 令和6年7月4日(木)～5日(金)

ところ あわら温泉「グランディア芳泉」
福井県あわら市舟津43-26

主 催 公益財団法人全国老人クラブ連合会
一般財団法人福井県老人クラブ連合会

後 援 福井県
あわら市
社会福祉法人全国社会福祉協議会
社会福祉法人福井県社会福祉協議会

目 次

1	日 程	1
2	開催要綱	2
3	基調報告	5
4	講 演	7
	国指定特別史跡戦国城下町一乗谷朝倉氏遺跡 —朝倉氏の興亡と花開いた多彩な文化—	
5	アトラクション	11
	三蝶会	
6	事例発表	
	①「誘蛾灯」で子どもたちと地域の伝統を繋ぐ	
	岐阜県大垣市 …	13
	②会員相互のつながりを深め、生きがいのある日々をめざして	
	富山県富山市 …	16
	③魅力ある活動を目指して～連合会にできること～	
	三重県東員町 …	20
7	意見交換会	
	①永平寺町健康長寿クラブ連合会	26
	②池田町老人クラブ連合会	29
8	参加者名簿	33
9	会場のご案内	45

日 程

【1日目】 7月4日（木）

■開 会 14:00～14:30（グランディアホール 5階）
 開会のことば 福井県老人クラブ連合会副会長 西 川 征 男
 あいさつ 福井県老人クラブ連合会会長 三 上 利 明
 来賓祝辞 福井県健康福祉部長 池 上 栄 志
 あわら市長 森 之 嗣

■基 調 報 告 14:30～15:00
 「老人クラブの現状と課題」
 全国老人クラブ連合会事務局長 正 立 齊

————— 休 憩（15:00～15:15） —————

■講 演 15:15～16:45
 国指定特別史跡戦国城下町一乗谷朝倉氏遺跡
 「朝倉氏の興亡と花開いた多彩な文化」
 元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長 青 木 豊 昭 氏

————— 休 憩（16:45～18:00） —————

■アトラクション 18:00～18:20（大輪 3階）
 三蝶会（代表 村 田 ひとみ）
 三国節や芦原節等の地元民謡や踊り、昭和の歌謡音楽等を三味線、太鼓で演奏

■懇 親 会 18:20～20:20（大輪 3階）

【2日目】 7月5日（金）

■朝 食 7:00～（季の蔵 3階）
 ■いきいき 8:45～ 9:00（グランディアホール 5階）
 クラブ体操
 ■事例発表 9:00～10:15
 ①「誘蛾灯」で子どもたちと地域の伝統を繋ぐ
 岐阜県大垣市 浅草かがやきクラブ
 ②会員相互のつながりを深め、生きがいのある日々をめざして
 富山県富山市 清水町地区第七清寿会
 ③魅力ある活動を目指して～連合会にできること～
 三重県東員町 東員町シニアクラブ連合会

————— 休 憩（10:15～10:30） —————

■意見交換会 10:30～11:30
 進行役 福井県社会福祉協議会 地域福祉課長 銚 碕 直 文 氏
 発表者 永平寺町健康長寿クラブ連合会 顧問 和 田 高 枝
 池田町老人クラブ連合会 会長 堀 口 岩 男

■閉 会 11:30～12:00
 次回開催老連あいさつ 岐阜県老人クラブ連合会会長 西 田 勝 嘉
 閉会のことば 福井県老人クラブ連合会副会長 森 田 一 昭

■昼 食 12:00～（グランディアホール 5階）

令和 6 年 度

東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会開催要綱

1. 趣 旨

私たち老人クラブは、共に支え合う「地域共生社会」の実現を目指して、地域での仲間づくりの輪を広げながら、健康づくりや介護予防活動、高齢者相互の支え合い活動、見守り活動に取り組んでいます。本研修会は、老人クラブを取り巻く状況やその役割について、情報・意見交換するとともに、相互交流を深めることにより、リーダーとしての資質を高め、もって今後の老人クラブ活動の発展と魅力づくりに資することを目的として開催します。

2. 主 催

公益財団法人全国老人クラブ連合会 一般財団法人 福井県老人クラブ連合会

3. 後 援

福井県 あわら市 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

4. 参加対象者

- ①市区町村老人クラブ連合会リーダー
 - ・若手リーダーの参加に配慮する
 - ・少なくとも3割程度は女性リーダーの参加に配慮する
 - ・本研修会に参加したことのないリーダーの参加に配慮する
- ②老人クラブ関係者

5. 期 日

令和6年7月4日（木）～7月5日（金）

6. 会 場

会場名 「グランディア 芳泉」
所在地 福井県あわら市舟津43-26
電 話 0776-77-2555 F A X 0776-77-2592

7. 参加費・宿泊費

参加費 一人 5,000円

宿泊費・弁当代等 一人 17,000円

※ただし、宿泊せずに懇親会まで参加の方は、参加費の他10,000円

8. 各老連参加者予定人数

岐 阜	富 山	愛 知	三 重	石 川	名古屋	福 井	計
20	20	20	20	20	20	50	170

9. 研修内容

(1) 基調報告

「老人クラブの現状と課題」

全国老人クラブ連合会事務局長 正 立 斉

(2) 講 演

演題 国指定特別史跡 戦国城下町一乗谷朝倉氏遺跡

一朝倉氏の興亡と花開いた多彩な文化―

講師 元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長

青 木 豊 昭 氏

(3) 事例発表 発表県 岐阜県、富山県、三重県

①サークル活動でクラブが活性化している事例

②リーダーの育成・継承ができた事例

③クラブの復活または新設された事例

④その他先進的な事例

(4) 意見交換会

- ・福井県内の2クラブの代表者が2名登壇し、クラブの活動概要等を説明した後、進行役のインタビュー（質問）に答える形で活動内容等を発表
- ・会場参加者からの質問等を受けての意見交換

10. 日 程

第1日〔7月4日（木）〕

13:00 14:00 14:30 15:00 15:15 16:45 18:00 18:20

受付	開会	基調報告 (30分)	休憩	講 演 (90分)	休憩	※ アトラク ション	懇親会
----	----	---------------	----	--------------	----	------------------	-----

※アトラクション

三蝶会（代表 村田ひとみ）

三国節や芦原節等の地元民謡や踊り、昭和の歌謡音楽等を三味線、太鼓等で演奏

第2日〔7月5日（金）〕

7:00 8:45 9:00 10:15 10:30 11:30 12:00

朝食	いきいき クラブ体操	事例発表 (75分)	休憩	意見交換会 (60分)	閉会	昼 食
----	---------------	---------------	----	----------------	----	-----

11. 連絡先

一般財団法人福井県老人クラブ連合会

〒910-0026

福井市光陽2丁目3番22号 福井県社会福祉センター内

TEL 0776-24-4853

FAX 0776-24-4580

E-mail fukuirr@yacht.ocn.ne.jp

[illegible]

基 調 報 告

老人クラブの現状と課題

公益財団法人 全国老人クラブ連合会

事務局長 正 立 斉

使用する資料

- 別冊「基調報告」
- 令和5年度「老人クラブ実態調査」（抜粋版）
- 令和6年度版「老人クラブリーダー必携」

[illegible]

講演

講

演



国指定特別史跡 戦国城下町一乗谷朝倉氏遺跡

— 朝倉氏の興亡と花開いた多彩な文化 —

元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長

青 木 豊 昭 氏

【プロフィール】

青木先生は、50年近くにわたり地域史研究者として、多面的な視座で地域史の解明に挑まれ
るとともに、その研究成果を図書や講座・学習会・シンポジウムなどを通して広報普及に協力し
活躍されている

【略歴】

昭和19年	福井県鯖江市生まれ
昭和42年～	昭和48年までの6年間、教師として学校に勤務する傍ら、福井県教育委員会や 市町村教育委員会の発掘調査・町史（誌）編纂等に協力
昭和48年	福井県教育委員会文化課文化財調査員
昭和60年	福井県立博物館学芸課長
平成 5年	福井県埋蔵文化財調査センター所長
平成 9年	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館館長

【公職等】

- ・国史跡兜山古墳環境整備検討委員会委員長（鯖江市）
- ・国史跡六呂瀬山古墳群調査整備委員会委員（坂井市） 等

【主要著書】

- ・福井県史（福井県）、継体大王の謎に挑む（六興出版）、
朝倉義景のすべて（新人物往来社）、継体大王と越の国（福井新聞社） 他多数

【その他】

- ・「歴史シンポジウム 古代製鉄と日本海文化」、「ジャパン漆サミットシンポジウム」
「シンポジウム 石棺が語る継体王朝—継体大王と越の国」等に講師、パネラーとして参加

講演資料

1 はじめに

(1) 発掘・整備を開始して58年

(2) 四つの指定

① 特別史跡 ② 特別名勝 ③ 出土品2343点 重要文化財 ④ 日本遺産

(3) 研究・展示施設の充実・拡充

① 一乗谷朝倉氏遺跡研究所 → ② 同資料館 → ③ 同博物館

(4) 遺跡の評価

① 「戦国村一乗谷」 → 「戦国城下町一乗谷」 ② 日本の中世のポンペイ・世界遺産への夢

2 朝倉氏興亡の歴史

(南北朝動乱)

(応仁の乱)

(元亀の争乱)

1 広景 2 高景 3 氏景 4 貞景 5 教景 6 家景 7 孝景 8 氏景 9 貞景 10 孝景 11 義景

1333年 (雌伏期 139年間)

① ————— ② ————— ③ ————— ④ ————— ⑤ —————

1471年 (戦国大名期 103年間) 1573年

※平均寿命 1～6代 72歳

7～11代 46歳

(創世記)

(安定期)

(最盛期)

3 朝倉氏興隆の実態とその理由

(1) 興隆の実態

① 朝倉氏当主夫人の出自の向上

② 遺跡出土記年銘石像物の増加

③ 当時の人々の評価

イ、文明13年(1481) 初代孝景亡

「孝景が亡くなったという。全くめでたいことだ。世の中の悪事を始めた張本人だ。」

(甘露寺親長)

「孝景が亡くなったという。法華經寿量品や焼香を送った。」(近衛政家)

ロ、3代 貞景

「貞景が土佐光信に描かせた洛中図はたいへんめずらしいもので、一見の価値がある。」

(三条西実隆)

ハ、天文4年(1535) 4代孝景

・朝倉館泉殿で花見の酒宴

「きてみれば柳桜の花の園 都のけしきたちもをよばじ」(富小路資直)

・犬追物棧敷酒宴之中

「あつさ弓 春も此春時津風 おさまる国の花を見る哉」(富小路資直)

ニ、永禄5年(1562) 5代義景

曲水の宴 「希代の興遊、末世の美談」(大覚寺義俊)

ホ、永禄11年（1568）南陽寺での観桜宴

「もろともに月も忘るな桜 年の緒長き契りと思はゞ」（足利義昭）

「君が代の時にあいあふ糸桜 いともかしこきけふのことの葉」（義景）

へ、『多門院日記』「戦国の動乱を鎮める人物」として、朝倉義景、武田信玄、織田信長

※『宗滴話記』…「京に上っての武略を義景様と夜が明けるまで話をしたことがたびたびある。」

（2）興隆の理由

①国づくりの明確な方針の策定（『朝倉孝景条々』）

- ・能力忠節主義 ・情報の収集 ・実用的合理主義 ・信賞必罰主義
- ・機密保持 ・質素儉約 ・人材育成と確保 ・呪いや占い禁止
- ・国内巡視と民意の尊重 ・重臣の一乗谷への集住 ・道理の尊重 など

②国内での謀反や戦の少なさ

③歴代党主の先進性と京文化への憧憬

④京か越前への数多くの文化人の下向

⑤諸物の高い生産力を誇る

⑥日本海を通しての大陸の先進的文物の入手

4 花開いた一乗谷の多彩な文化（スライドで）

- （1）猿楽 （2）幸若舞 （3）茶の湯 （4）絵画 （5）越前焼
（6）庭園 （7）食文化 （8）築城技術

5 朝倉氏滅亡の最大の理由

◆義景家臣No.1 朝倉景紀（敦賀郡司 兵3000人）とNo.2 朝倉景鏡（大野郡司 兵2000人）の対立

6 おわりに ～朝倉氏の興亡に学ぶ～

（1）盛者必衰・生者必滅

（2）・敦賀郡司朝倉景豊（敦賀郡司 9代当主貞景に謀反20余歳で自害）

- ・11代当主朝倉義景（一族 朝倉景鏡の謀反により41歳で自害して果てる）

両者の辞世句に見る戦国武将の世界観

①「二十余年楽 電光石化中 正邪何有隔 皆是本来空」

②「七転八倒 四十年中 無他無自 四大本空」

（3）老人クラブ会員（私自身も含めて）の位置と心構え

① 四季の中の「冬」・起承転結の「結」

② 生涯学習の時代・生涯社会貢献

③ 福（＝至福）の願い

④ 徳（＝五徳）の向上

[illegible]

アトラクション

三 蝶 会

福井県坂井市三国町生まれ三国育ちの三姉妹

幼いころから、父 村田昭男（故人）の三味線・笛・太鼓を聞いて育つ
その影響を受けて、いつになく邦楽に興味を持つ

長女 佐藤実寿恵

三国町陣ヶ岡在住

Y M S 音楽教室（ピアノ・エレクトーン・大正琴を指導）

次女 村田妃美

三国町汐見在住

三国祭お囃子指導 三国祭おはやしの会 ひとみ会 代表

津軽三味線 民謡を 戸田弓子氏（キングレコード専属民謡歌手）に師事

三女 塚田絵美

三国町緑ヶ丘在住

輝流太鼓 指導

父が亡き後、父の意志を継ぎ、「三蝶会」として活動をはじめる

三国に伝わる伝統と独自の音楽を作りながら、各イベントに出演

和と洋をミックスした斬新なサウンドを披露していきたい



Memo

事例発表

「誘蛾灯」で子どもたちと地域の伝統を繋ぐ

岐阜県大垣市 かがやきクラブ大垣 副会長
浅草かがやきクラブ 会長
國 枝 芳 則

【地域の概要】

俳人松尾芭蕉の「奥の細道」の最終地である大垣市は岐阜県の西部、西に養老山系、東に木曾三川の一つ「揖斐川」に囲まれた所にあります。人口は15万7千余。豊富で良質な地下水があり「水の都」と称されています。

私たちの地域は、大垣市の南部に位置し、名神高速道路大垣インターチェンジと大垣市と三重県桑名市を結ぶ大動脈国道258号線が町内を通っています。

1645年に開発されて以来稲作を中心とした典型的な農村地帯でしたが名神高速道路が開通した昭和39年頃を境として工場や住宅が建ち都市化が進んでいます。

世帯・人口も1702年（元禄15年）56戸・222人が321年後の令和5年258世帯642人（大垣市住民基本台帳、人口集計表による）の小集落です。

【誘蛾灯とは】

昆虫の走光性を利用して害虫を誘殺する器具で、種油を燃やして光源としその下に水を入れた水盤を置き、光を求めて集まってきた昆虫を水中に落として殺す仕組みになっていました。

その誘蛾灯は田んぼの畦道や田んぼの中に点々と設置され特にイネの害虫「ニカメイチュウ」の防除に効果があったと言われていました。

夕暮れ迫るころ青年が油の補給と火を灯しに歩いていた記憶がおぼろげながら残っています。

この誘蛾灯も昭和30年代になると農薬の普及で一気に姿を消してしまいました。



【誘蛾灯復活の背景】

私どもの町内では団塊の世代が青年に達するころには田舎芝居などをしていた青年団の組織も消滅し伝統行事というものも継承されなくなりました。

ただ、農村地帯ということで神事として毎年6月中頃に神主さんを招いて稲作の害虫駆除を祈願する「虫送り神事」が現在も継続して行われています。

当時の自治会長が発起し氏子総代とともに「虫送り神事」と一緒に「誘蛾灯」を復活させようと計画を練りました。（自治会長・氏子総代全員がかがやきクラブ会員）

「虫送り神事」にも参加しない若い親・孫などを巻き込むにはどうしたらいいか検討した結果、孫にあたる小中学生を対象とした行事にすれば、その親も付いてきて3世代にわたる行事になるのでは、との結論に達しました。

さらに行事として行うなら、「誘蛾灯」を通して昔を知らない若い親や子どもたちに先人たちが苦勞して稲作をしていたことを伝承していこうということになりました。



【「誘蛾灯」行事の流れ】

午前中に「虫送り神事」。

夕刻子どもを神社に招き全員で本殿に参拝。

松明に火を灯し誘蛾灯設置箇所まで700mほどを、子どもたちが松明行進する。

「誘蛾灯」に火を灯す。

子どもたちと花火を行う。

一連の行事が終わり参加者にお菓子を配る。



第1回を平成25年6月に行い、以来コロナ禍で3年ほど中断し、昨年度から再開しています。

当初は「何で今更効果がないことをするんだ」などと、乗り気でなかったかがやきクラブ員も、こども達の楽しそうな笑顔と想像以上の参加者があったことなどで、継続していくことに賛同してくれるようになりました。



【誘蛾灯・松明づくり】

町内の長老の記憶を頼りに器具づくりを始めました。

昔はいろいろな形状があったらしいですが簡単な形状にすることにしました。

竹を柱に、水盤（受け皿）をトタンで、ランプは100円ショップで買えるガラス瓶とし、燃料は灯油です。

受け皿づくりは、平らに切った円盤のトタンに切り込みを入れることなく周囲を折りたたんで大きな皿のお椀にしました。



松明づくりは子どもも参加し竹竿にボログレを芯にして、葦やススキを巻いて子どもが持ち歩ける重さにして作りました。

【これからの課題】

団塊の世代以前は「年長者の言うことなら従うしかないな」とか「浮世の義理で・・・」との行動も社会の変化で通用しなくなっています。団塊ジュニア世代では共働きが当たり前になり若い人が行事に参加する余裕がない時代になっています。

また団塊世代にもいろいろな意見がある中でも若い世代を助け、やってみて、楽しくうれしそうな子どもや親さん達の顔をみれば、「やってよかったな」と思わざるを得ません。

この「誘蛾灯」の行事を通じて3世代の交流が長く続けられることが地域の維持につながるものと確信しております。

会員相互のつながりを深め、 生きがいのある日々をめざして

富山県 富山市老人クラブ連合会
清水町地区第七清寿会 会長 金 山 圭 子

1 富山市、清水町地区の概要

富山市は、富山県のほぼ中央に位置し、北は深さ1,000mを超えホタルイカ、シロエビ、ブリなど豊富な魚貝類を育む「天然のいけす」富山湾に面し、東には3,000m級の山々が連なる立山連峰を望む「立山あおぐ特等席」となっています。江戸時代から続く越中売薬は広く全国に知られ「日本の薬都」とも呼ばれています。

また、清水町地区第七清寿会は、富山市の中心市街地にほど近い大泉東町一丁目に位置しています。

西には芥川賞作家の宮本輝が小説「蜚川」に描いた「いたち川」が流れる静かな住宅地です。

クラブ所在の地区人口は402人で、65歳以上は109人（うち後期高齢者は67人）、高齢化率は27.11%で、富山市全体の高齢化率（30.27%）よりやや低くなっています（いずれも、令和6年3月末現在）。

2 清水町地区第七清寿会の現況

～役員全員が女性で、活発な議論により事業の活性化～

清水町地区第七清寿会は、昭和38年4月に設立され、現在会員数は55名で、役員全員が女性であることが特徴となっています。

3か月に1度開催する役員会では、女性だけの気安さからか、次から次へと意見やアイデアが出てきます。また、意見もまとまりやすく、新たな事業の実施など、クラブの前向きな運営、活性化につながっているものと考えています。

また、役員会は様々な情報交換の場ともなっており、会員の動静の共有や支援活動にもつながりやすくなっていると感じています。

○会 員 数 55名（男性23名、女性32名、うち一人暮らし15名）

○役 員 8名（会長1、副会長1、庶務1、会計1、班長4）

○年間予算 約30万円

3 会員相互のつながりを深める

～会報紙で会員の相互理解、つながりを深める～

当クラブでは、月1回、第七清寿会だより「かがやき」を発行し、令和6年7月で53号を数えます。

一番力を入れている記事は、会員紹介「お元気ですか、〇〇さん」です。

毎月一人の会員を取材し、「趣味や特技」、「これまでの生き方」、「生活信条」、「最近の生活状況」などを紹介しています。

会員個々の人柄や考え方を知ることができ、毎号楽しみにしている会員も多く、相互理解や絆づくりに役立っています。

取材は会員一人ひとりと向き合える貴重な機会となっており、また、生き方の参考となることなど得るものが多く自分自身の成長にもつながっていると実感しています。

「かがやき」の内容

- ・新鮮な話題等の紹介
- ・会員紹介「お元気ですか、〇〇さん」
- ・会員の動静
- ・心に刻みたい言葉 等々

第七清寿会
だより

かがやき

NO 48

令和6年2月



元旦の地震には本当に肝をつぶしました。皆様のご家庭ではいかがでしたか。町内では灯籠が倒れた家もあったようですが、幸いにも大きな被害もなくほんとうによかったと思いました。連日放映されている震源地の能登方面の様子には心が痛みます。

何とか力になれないものかと思いますが、機会をとらえて募金することくらいしかできません。いざという時のために持ち出し用のリュックを準備しなければいけないながらもいまだにしていません。みんなで準備しようではありませんか。

尚、一日の夜に村下町内会長さんが一人暮らしの家を訪ねて下さり心強く思いました。有難うございました。

お元気ですか 高松かな子さん

高松さんは、長い間実家の青果商を手伝ってこられました。晴れた日は自転車、雨の日は徒歩で総曲輪まで通っておられることが健康のもとだとおっしゃっていました。

しかし、2年ほど前に高血圧による脳の血管切れで手術されました。幸いにも切れた箇所の関係で大事にいらず、今は普通の生活を送っておられます。

発症当時のお話ですと、ご本人は何の自覚もないのに家族の方がしゃべり方の異変に気づかれて病院へ行かれたとのこと。本当によかったですね。

これからも健康に留意されてお過ごしください。



高松さんの話から、ちょっとした体の異常には自身で気づくよう努め、何かあったらすぐに周囲の人や包括支援センターに等に相談したいものです。

令和6年度年会費の徴収について（お願い）

まもなく令和5年度も終わります。皆様のご協力のおかげで予定した行事も行うことができました。有難うございました。

つきましては、令和6年度の年会費を2月下旬に集めたいと思いますのでよろしくお願いします。

人生は学校である。そこでは、幸福よりも不幸の方が良い教師である。

4 生きがいのある日々をめざして

～会員の個性を考え、生きがいづくりに貢献する多様な事業の展開～

事業の企画に当たっては、会員の人柄や好みを思い浮かべながら、会員の「いきがいづくり」等に貢献できるよう、ワイワイと、楽しく役員で検討しています。

また、会員相互の交流も、会報誌「かがやき」を通じて相互理解が進んだことで深まってきており、参加率も少しずつ高くなってきています。

《令和5年度の実施事業》

○公園花壇の管理

春から秋にかけては、花の苗を花壇に植え、水やり等の管理を行い、地域の環境美化に貢献しています。花の時期が終わると、チューリップの球根や菜の花の種を植え、春を待ちます。

○児童会と共に行うラジオ体操

会員と地域の子どもたちやその親も参加して、ラジオ体操を行っています。世代間交流や地域のつながりを大切にする貴重な場となっています。

○地区作品展への出品

毎年、地区の作品展に共同で出品しています。令和5年度は、綺麗な曼荼羅ぬり絵を製作しました。

○教養講座の開催

「防災講座」「終活について」の2つの教養講座を開催しました。

「防災講座」では、日頃からの心がけや自分の身は自分で守ることの大切さを学び、1月の地震対応にも生かされました。

「終活について」では、終活記録ノートを基に講義いただきました。

また、教養講座に併せて、毎回、レクリエーションや食事会で盛り上がっています。



○落ち葉清掃

11月末になると、近くの公園は落ち葉で敷き詰められます。落ち葉清掃では、なまっている体を動かし心地よい汗をかくことで、全員の顔が輝いているのが印象的です。

○忘年会

町内会長からいただいた大根で豚汁やおすわい、浅漬け等を作り、みんなで味わいました。恒例のビンゴ大会もあり、笑いあふれる会となりました。

○サロン活動「陽だまりの会」

市の介護予防推進活動助成金を活用し、週1回、要支援者の方を交えて「陽だまりの会」を開いています。

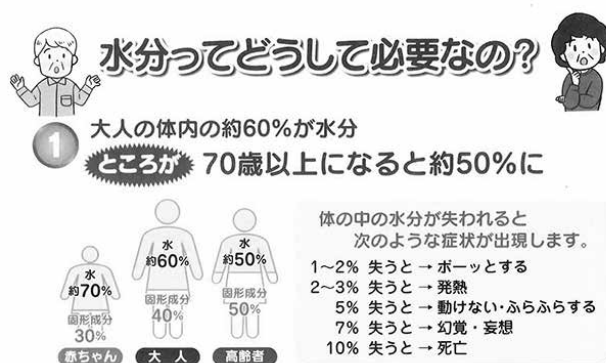
手作り歌集による合唱や、会員の詩吟講師の指導のもと腹から声を出しての詩吟、その後のお茶の時間では話が盛り上がり、元気を分かち合っています。



○心通わす水飲み運動

富山市では「水飲み運動」に力を入れています。1日1,500mlの水分を目安に摂ることで介護予防に大きくつながるようです。水飲み運動記録票と共に「介護予防の簡単チェックリスト」を配布しています。

「チェックリスト」を回収する時を会員とのふれあう大切な機会ととらえ、心を通わせるよう努めています。



5 終わりに

- ・老人クラブ活動に参加・協力することで、心の豊かさや生きがいが増えること、フレイル予防に大きく関わることを、何よりも自分自身の元気の源になることを伝えていきたい。
- ・また、会員への配布物があるときには、自筆のお手紙を添えています。様々な機会をとらえて、会員同士の交流やつながりを、今後とも大切にしていきたい。

魅力ある活動を目指して ～連合会にできること～

三重県・東員町シニアクラブ連合会

会長 伊藤 正

東員町ってこんな町！

ちょこっと田舎
ちょこっと都会

①コンパクトな町の中心に都市機能が充実！

名古屋市から30km県内に位置します。

②車やバス、鉄道で広域のアクセスも便利！

2016年に東海環状自動車道の東員ICが開通しました。

③「街の幸福度ランキング」で2年連続1位！

民間企業が行った東海エリアの居住満足度調査により

2021～22年の2年連続で1位を獲得しました。

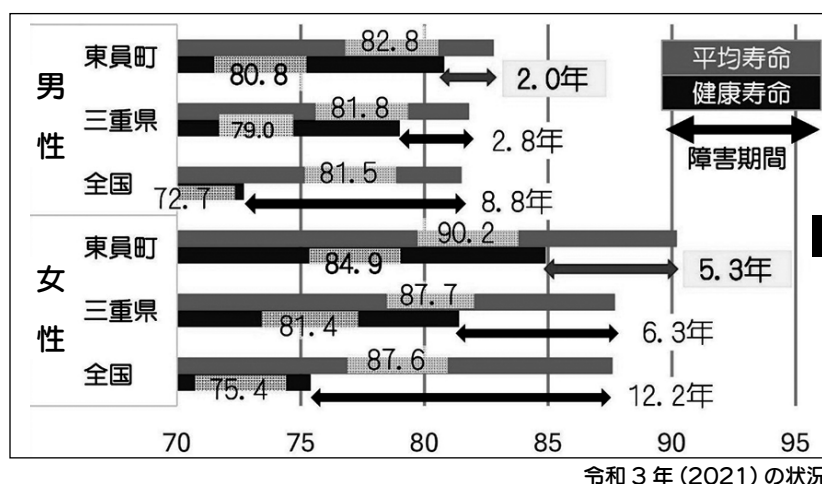
「住み続けたい街ランキング」でも5位となりました。



[人口] 25,915人 人口の推移は年々上がり続けています。

[総面積] 22.68km² 東西5km、南北7.3kmとコンパクトな町。

[高齢化率] 31.1% 高齢者人口、高齢化率が年々上昇しています。



“ピンピンコロリ”
(寿命と健康寿命の差の無さ)

亡くなる直前まで病気に
苦しむことなく元気に長
生きし最後は寝込まずに
コロリと死ぬこと

当会が目指すもの

「いつまでも元気でいるために、楽しくクラブ活動を行う」

趣味などで得た知識や経験を活かす

地域を豊かにしたい

仲間との交流は介護予防になる

いきがいを持って楽しい生活

運動を仲間と行い健康活動



ここ数年での変化

①グラウンドゴルフ大会

年に3回実施。100名程参加。令和4年度全国老人クラブ連合会「活動賞」を受賞。

三重県をホームタウンとする、日本フットボールリーグ（JFL）所属のサッカークラブである「ヴィアティン三重」と交流企画を開催。ヴィアティン三重の方が準備体操、休憩時間にリフティングを披露、そして一緒にプレー。

また、町内の障がい者福祉事業所である社会福祉法人いずみ「パン工房いずみ」がパンの移動販売に参加。世代や地域を超えた企画を考案し、一緒にグラウンドゴルフ大会を盛り上げています。



②シニアのつどい（福祉大会・芸能大会）

これまで町長や議員等来賓を招いて開催でした。「出演者から来場者のすべての方が、開会から閉会まで楽しめる企画にしたい」「アットホームな企画にしたい」という思いから、開催方法を大幅にリニューアル。

祝辞や大会宣言を無くし、オープニングは市民活動支援センターの登録団体に懐かしの曲を飾ってもらい、開会から盛り上げます。表彰式では、被表彰者にインタビューをし、コメントを頂戴するなど終始明るく和やかな雰囲気です。



オープニング



表彰式



芸能大会

③健康麻雀交流会・ユニカール交流会

「会員個人でも参加できる企画を」「1人でも多くの会員が参加できる機会を作りたい」という思いから始めました。参加申込は会員個人、会場設営等は参加者で行うため、役員の負担軽減になっています。麻雀交流会では初心者大歓迎とし、「麻雀テキスト」を作成しました。

令和6年度は、料理教室やハンドマッサージ教室、パーソナルカラー診断を計画しました。
料理教室の講師はシニア会員であり、特技を活かす場にもなります。



④会員交流会

例年日帰りバス旅行を計画していました。コロナ禍を経て再開を試みた際、バスでの移動が難しい方も増えてきており「多くの会員が楽しい時間を過ごしてほしい」という思いから、町内での企画に変更しました。

令和4年度は東員町出身の三遊亭鯛好氏の落語、令和5年度は健康アーティスト己抄呼氏の笑う体操を実施。令和6年度は町内中学校吹奏楽部の演奏、大道芸、抽選会を企画中です。

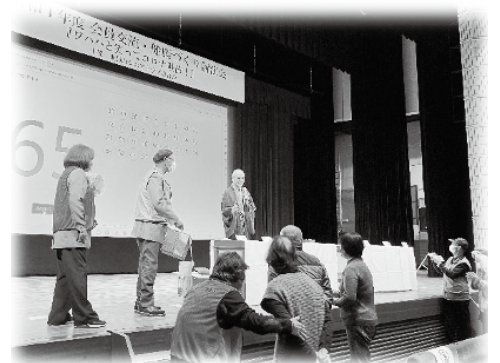
この企画は会員に限らず、どなたでも参加できます。シニアクラブの活動を知ってもらう良い機会、世代間交流の場となっています。



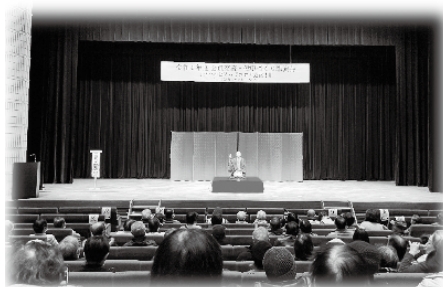
受付で共同募金活動を実施



オープニングの演奏



ビンゴ大会



三遊亭鯛好氏の落語



健康アーティスト己抄呼氏の笑う体操

広報・PR活動

①ホームページ、Facebook

連合会の行事の他、各地区の活動も紹介。文章や写真を社協に提供し掲載。各クラブの活動の参考としても活用。申込書などの提出書類もダウンロードできるようになっています。

目的から探す



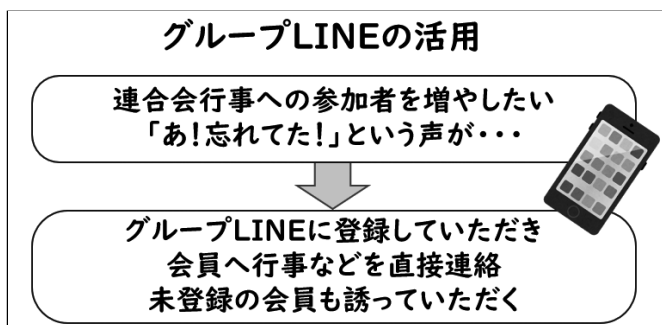
②シニア通信

年2回発行。機関紙「シニア通信」に連合会の取り組み内容や単位クラブの活動紹介クラブの魅力を掲載。シニアクラブ未加入の地区にも知ってもらえるよう自治会回覧を依頼。

③LINEオープンチャット

連絡網を活用していたが、最後まで連絡が行き届かない、内容に相違が生じてしまうこと、スマートフォンの普及もあり、LINEオープンチャット機能を活用。

また、令和6年度より連合会全体のLINEオープンチャットを開始。



『東員町シニアクラブ連合会』の
LINEを作成しました

【目的】
「回覧で見たけど...」「チラシどこやったけ?」「開催日いつ?」
見落としがち・つい忘れちゃう方に便利

シニアクラブ連合会の行事や活動を案内!

参加者募集
の案内

開催2～3日前
にお知らせ

【特徴】

- ①事務局（社協）からの通知のみ
- ②LINEグループ内で返答・会話は行わない
- ③気軽に参加・退出できる

【発信開始】
令和6年4月からスタート

【登録について】
LINEに登録されている方なら簡単に登録できます

[illegible]

意見交換会

意見交換会

『福井県から二つのユニークな活動発表と意見交換』

進 行 役

社会福祉法人福井県社会福祉協議会

地域福祉課長 銚 碕 直 文 氏

発表者①

健康寿命延伸のための「健康長寿3年日記」の作成と推奨活動

永平寺町健康長寿クラブ連合会 顧問 和 田 高 枝

発表者②

小学生との野菜づくり活動報告

池田町老人クラブ連合会 会長 堀 口 岩 男

健康寿命延伸のための 「健康長寿3年日記」の作成と推奨活動

福井県 永平寺町健康長寿クラブ連合会

顧問 和田 高枝

1. 地域の概要

永平寺町は福井県の北部、勝山盆地と福井平野の間に位置しており、禅宗の曹洞宗大本山永平寺の門前町として有名な町です。また、古代の息吹を感じさせる松岡古墳群、夏の風物詩として永平寺大燈籠流しが行われ毎年大勢の太公望が鮎釣りを楽しめる九頭竜川、また福井大学医学部や福井県立大学など2つの大学があり、歴史名所が数多くある豊かな自然に囲まれた歴史と学問の町です。

(1) 永平寺町の現状

人 口 17,754名

高齢化率 32.2%

(2) 永平寺町健康長寿クラブ連合会の現状

会 員 数 1,480名

組 織 会長1、副会長3、理事13、顧問1

地区体制(中学校区) 3地区

単位クラブ 30クラブ



2. 「健康長寿3年日記運動」の取り組み

(1) 「健康長寿3年日記」事業開始の経緯

認知症予防、健康寿命を伸ばすためには、書くこと(脳の活動の衰えを防ぎ、活性化させる)が有効ということから「健康長寿3年日記」を作成し、平成28年度から「健康長寿3年日記運動」に取り組んでいます。

取り組みのきっかけとなったのは、連合会で開催した講演会です。「脳の仕組みを知って健康長寿時代を幸せに生きる」というテーマでの話の中で、指を使うことは150の脳神経が使われるということを知り、また私自身も日頃から日記をつけていたこともあって、役員会で提案したところ、皆の賛同を得て実施することとなりました。

(2)「健康長寿3年日記」の様式

「健康長寿3年日記」は、文字どおり1冊で3年間記入することができる日記で、3段書きで、1年目が一段目、2年目が二段目、3年目が三段目で上段を見ると前年や前々年の同月日に書いた内容がわかるようになっています。また、高齢者が書きやすいスペースにも配慮して作られています。



(3) 事業の財源

作成費は1冊800円ですが、作成当初1年目から3年目までは、永平寺町独自の事業である「わがまち夢プラン育成支援事業」を活用し、作成費用の一部を賄うことにより、購入者には500円で販売いたしました。6年目からは実費の800円をいただいています。

(4) 会員への普及

会員への広報としては、単位クラブの会長やリーダーを対象に開催している指導者研修会で周知しています。その指導者研修会や老人福祉大学、各地区の総会において「健康長寿3年日記」実践発表を行い、日記を書くことでどのような効果があったのか体験談を語ってもらい、会員にPRする機会を設けています。また、3年間日記をつけ続けられた会員には奨励賞として記念品を贈呈しており、日記記帳のやる気にも繋がっています。

(5)「イキイキ健康長寿3年日記実践実行委員会」の立ち上げ

当初は会員を中心に推奨していましたが、高齢者だけでなく青年世代、壮年世代にも受け入れられるような日記を作成しようと、令和3年に高齢者と壮青年者で「イキイキ健康長寿3年日記実践実行委員会」を立ち上げ、より良い3年日記の作成に取り組んでいます。そのなかで「3年間使用すると表紙が徐々に痛んでくるので困る」という声にお応えして、3年前よりブックカバーを取り付けました。さらに、毎日継続して書くことに対してモチベーションアップを目的に、実行委員がコメントを考え、毎月1日と15日に一言メモを掲載いたしました。

新年、今日から
楽しんで書こう

1月1日	
1年度	天気 曜日

暑い夏 健康第一
がんばろう

7月1日	
1年度	天気 曜日

ありがとう
全てに感謝忘れずに!

12月15日	
1年度	天気 曜日

また「日記を書くのが楽しみだけど、なかなか見て楽しい日記が書けない」とか「イラストを入れたいけどとても絵なんて描けない」などの意見があったので「もっと楽しくなる日記の書きかた講習会」を開催し大好評でした。



もっと楽しくなる日記の書きかた講習会

(6) 町との連携

広報としては、永平寺町の協力も得て、各戸チラシ配布や町広報誌に掲載、福井新聞に記事にさせていただいており、現在では会員のみならず町外の方からも多くの購入希望者があり、これまでに3000冊以上が希望者にわたっています。令和2年度には二十歳を迎えられた新成人の方にも大人の仲間入りの成長記録を記することができる記念品としてこの日記を配布し、大変喜ばれました。



町広報誌 掲載



新聞 掲載



新聞 論説 掲載

(7) 今後の目標

健康長寿は若い世代から心掛けることが肝要です。

今年度は、来年に町内中学校で1年生を迎える新入生に、中学3年間の成長記録を記するための新たな「中学生3年日記」を作成し、贈呈を計画しており、「イキイキ健康長寿3年日記実践実行委員会」に『学校教育課』を交えて協議を重ねて、中学生に受け入れやすい3年日記の作成を計画しています。

今後は「日本一日記をつけるまち」そして「健康長寿日本一のまち」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

小学生との野菜づくり活動報告

福井県 池田町老人クラブ連合会
会長 堀 口 岩 男

1. 地域の概要

池田町は、四方を山に囲まれた盆地で、ほぼ福井県の真中に位置しています。

また、町域の約9割は森林で覆われ、福井県の中でも有数の豪雪地域です。

町内の中央部には、足羽川が走りアユ釣り客で賑わうとともに、地形を生かした稲づくりや林業が盛んな山村です。

昨年11月には新しく「冠山トンネル」が開通し、冬期間の通行止めが解消され、岐阜県との往来が随分便利になりました。

町内には、日本の滝100選に選ばれた「龍双ヶ滝」や鎌倉時代から伝わる「水海の田楽能舞」、日本最大級の冒険の森「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」などがあり、見所、遊び所が満載です。

過疎化が著しい池田町ですが、更に新しいトンネル建設や観光交流施設「道のオアシスフォーシーズンテラス」が本年4月に開業するなど、町をあげて新しい企画を推進しています。

(1) 池田町のご紹介

人 口 2,230人

(男性 1,075人 女性 1,155人)

世 帯 数 884世帯

高齢化率 47.04% (65歳以上人口 1,049人)

福井県17市町の中で最も人口が少なく、最も高齢化率が高い町

(2) 池田町老人クラブ連合会

クラブ数 8クラブ

会 員 数 373人

加 入 率 29.8% (60歳以上人口 1,250人)

(3) 共に生きる町を目ざして

～地域づくり～

健康寿命を延ばす

介護予防と重症化の防止

認知症施策の推進

安心・自立して暮らせる共生社会の確立

2. ドリームカンパニー

(1) 設立の趣旨

小学生が農作業を通し、自然や人との関りを学ぶとともに、老人クラブ会員が培ってきた技術を生かした健康づくりや世代間交流を野菜づくりから学ぶ。

(2) ドリームカンパニーの作業内容

- ・小学生中心の計画会議

何を作りたいか？生徒が提案

ドリームカンパニーが作業手法を考え、農作業企画書を作成

- ・種まき、苗作り……種まき、苗カップに種をまく
- ・定植……畝を作り、マルチをかける
～なぜ畝作る、なぜマルチ～
- ・草むしり……なぜ、草むしり
- ・収穫……スイカやメロンめっちゃ美味しい
- ・収穫祭、販売

(3) 活動を終えて

ドリームカンパニー会員から届いた声……

- ・子供時代を思い出しながら、居場所づくりになった。
- ・小学生との交流を通じて、自身が元気になった。
- ・地域で見かけると、声をかけてくれるようになった。
- ・素晴らしい野菜、スイカ、メロンが美味しかった。

⇒児童が中心になり計画立案、種まき、育成までの一貫した野菜づくりは、相互に誇れる活動になった。



3. 今後の展望

(1) 小学生の児童減少に伴い細く長く継続

「野草教室」の実施

- ・自然に生えている野草の中で、食べられる野草や毒のある野草などについて、小学生に教える「野草教室」を開催していく。
- ・小学生中心の野菜づくりで老人クラブへの要望には、ドリームカンパニーから数名支援していく。
- ・種まきから収穫までの一貫した作業支援は、全国の中でもとても珍しい活動であるため苦労も多いが、学校からの要望に対しては活動を縮小しつつも、支援・対応していく。

(2) 健康寿命延長への挑戦

「ウォーキング推進協議会」の設立

- ・健康寿命を延ばす効果のあるウォーキングを推進するため「ウォーキング推進協議会」を立ち上げ、年5回以上池田の自然をウォーキングしながら、スマートフォンを片手にLINEトークを通して楽しく健康寿命を延ばす。

(3) これからの老人クラブ活動のあり方について

- ・老人クラブの基本……通いの場、集いの場

この場に参加することでスポーツや文化が生まれ、地域とのつながりや社会活動にも発展していく。

- ・集うことで安心な地域づくりができる

まずは、行動を起こすことを……

リーダーとしての役割を念頭に置いて推進していく。



Memo

参加者名簿

令和6年度 東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会 参加者数一覧

(単位：人)

県・指定都市	参加者数	内 訳		女性参加比率
		男 性	女 性	
岐阜県	1 9	1 4	5	2 6 . 3 %
富山県	1 7	1 4	3	1 7 . 6 %
愛知県	2 3	1 5	8	3 4 . 8 %
三重県	2 1	9	1 2	5 7 . 1 %
石川県	1 5	9	6	4 0 . 0 %
名古屋市	1 8	1 0	8	4 4 . 4 %
福井県	5 1	2 7	2 4	4 7 . 1 %
全老連	1	1	0	0 . 0 %
合計	1 6 5	9 9	6 6	4 0 . 0 %

【岐阜県老人クラブ連合会】１９名（男１４名・女　５名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	西 田 勝 嘉	男	岐 阜 県 老 連	会 長	5 0 5	
2	毛 利 智 弘	男	岐 阜 市 老 連	副 会 長	5 0 6	
3	辻 雅 宏	男	岐 阜 市 老 連	副 会 長	5 0 6	
4	水 谷 照 男	男	岐 阜 市 老 連	副 会 長	5 0 6	
5	新 井 正 信	男	瑞 穂 市 老 連	常任理事会長	5 0 5	
6	大 橋 明 美	女	本 巢 市 老 連	理 事	5 0 7	
7	丹 羽 英 之	男	山 県 市 老 連	会 長	5 0 6	
8	神 野 正 教	男	いきいきクラブ 海 津	会 長	5 0 5	
9	吉 田 儀 一	男	西 南 濃 老 連	会 長	5 0 5	
10	宇 野 等	男	揖 斐 郡 老 連	会 長	5 0 5	
11	林 末 廣	男	美 濃 加 茂 市 連 健 寿 市 連	単位クラブ 会 長	5 0 6	
12	間 宮 敏 彦	男	美 濃 加 茂 市 連 健 寿 市 連	副 会 長	5 0 6	
13	三 輪 やよい	女	ききょうクラブ 土 岐	副 会 長	5 0 7	
14	杉 原 君 代	女	恵 那 市 壮 健 連	副 会 長 女 性 部 長	5 0 7	
15	上 林 茂 子	女	飛 騨 市 シ ニ ア 連	理 事	5 0 7	
16	國 枝 芳 則	男	かがやきクラブ 大 垣	副 会 長	5 0 5	
17	樋 口 博 久	男	県 老 連	常 務 理 事 兼 事 務 局 長	5 0 5	
18	間 宮 康 則	男	県 老 連	事 務 局 次 長	5 0 6	
19	加 藤 恵 子	女	県 老 連	事 務 局	5 0 7	

【富山県老人クラブ連合会】 17名（男14名・女 3名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	麻 畠 裕 之	男	県 老 連	会 長	9 5 2	
2	金 山 圭 子	女	富 山 市 老 連	副 会 長	9 5 1	
3	堀 切 仁 志	男	富 山 市 老 連	副 会 長	9 5 3	
4	村 井 修 一	男	高 岡 市 老 連	副 会 長	9 5 5	
5	大 道 悦 子	女	高 岡 市 老 連	副 会 長	9 5 1	
6	住 吉 久 夫	男	魚 津 市 老 連	副 会 長	9 5 3	
7	黒 田 美弥次	男	魚 津 市 老 連	副 会 長	9 5 5	
8	浦 田 節 子	女	悠友クラブ滑川	副 会 長	9 5 1	
9	此 川 昇	男	黒 部 市 老 連	会 長	9 5 3	
10	島 秀 樹	男	砺 波 市 老 連	会 長	9 5 3	
11	殿 山 喜美栄	男	小矢部市長寿連	副 会 長	9 5 2	
12	辻 清市郎	男	南 砺 市 老 連	副 会 長	9 5 2	
13	渡 辺 國 臣	男	射 水 市 老 連	副 会 長	9 5 3	
14	杉 岡 紳 朗	男	射 水 市 老 連	副 会 長	9 5 5	
15	牧 野 重 雄	男	立 山 町 老 連	会 長	9 5 2	
16	右 井 重 二	男	朝 日 町 い き い き 連	副 会 長	9 5 5	
17	浦 上 稔	男	県 老 連	事 務 局 長	9 5 5	

【愛知県老人クラブ連合会】23名（男15名・女 8名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	鷺 山 幸 男	男	岡 崎 市 老 連	会 長	8 0 5	
2	中 根 藤 夫	男	岡 崎 市 老 連	副 会 長	8 0 3	
3	阿 部 啓 子	女	岡 崎 市 老 連	副 会 長 兼 女 性 部 長	8 0 1	
4	神 谷 妙 子	女	岡 崎 市 老 連	会 計 兼 女 性 部 副 部 長	8 0 2	
5	田 中 ヒサ子	女	春日井市老連	書記兼女性 部会副部会長	8 0 1	
6	日 比 正 光	男	津 島 市 老 連	会 長	8 0 5	
7	鈴 木 昇	男	津 島 市 老 連	監 事	8 0 3	
8	梅 村 計 介	男	犬 山 市 老 連	副 会 長	8 0 3	
9	野 村 勝 彦	男	小 牧 市 老 連	副 会 長	8 0 5	
10	村 上 敏 彦	男	大 府 市 老 連	副 会 長	8 0 3	
11	三 浦 康 司	男	知 立 市 老 連	会 長	8 0 5	
12	有 馬 一 子	女	知 立 市 老 連	女性部委員長	8 0 2	
13	安 藤 明 夫	男	豊 山 町 老 連	副 会 長	8 0 3	
14	横 田 久 旨	男	豊 山 町 老 連	監 事	8 0 5	
15	間 宮 進 示	男	扶 桑 町 老 連	会 長	8 0 5	
16	木 学 勲	男	南知多町老連	会 長	8 0 3	
17	石 黒 満 昭	男	南知多町老連	顧 問	8 0 3	
18	日 比 富喜子	女	南知多町老連	副 会 長	8 0 1	
19	日 比 千律子	女	南知多町老連	理 事	8 0 1	
20	山 本 比佐子	女	南知多町老連	理 事	8 0 2	

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
21	森 純 子	女	南知多町老連	理 事	8 0 2	
22	平 松 哉 人	男	愛 知 県 社 会 福 祉 協 議 会	福祉いきがい センター所長	8 0 5	
23	荒 井 宣 広	男	愛 知 県 老 連	活動推進員	8 0 5	

【三重県老人クラブ連合会】21名（男 9名・女12名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	吉 良 勇 藏	男	県 老 連	会 長	6 0 1	
2	伊 藤 正	男	東員町シニア連	会 長	6 0 1	
3	朝 倉 たま子	女	東員町シニア連	事 務 局 長	6 0 3	
4	大 竹 章 二	男	東員町シニア連	副 会 長	6 0 1	
5	伊 藤 昌 子	女	桑 名 市 老 連	女 性 部 長	6 0 3	
6	伊 藤 強	男	いなべ市老連	会 長	6 0 1	
7	鵜 猛	男	三 重 郡 三 川 越 町 老 連	監 事	6 0 2	
8	久 野 京 子	女	鈴 鹿 市 老 連	女 性 部 長	6 0 5	
9	廣 森 いつ子	女	亀 山 市 老 連	支えあい部長	6 0 3	
10	片 岡 眞 郁	男	津 市 老 連	副 会 長	6 0 2	
11	北 村 靖 子	女	多気郡大台町 高齢者クラブ	女 性 委 員	6 0 3	
12	北 岡 巖	男	松 阪 市 老 連	会 長	6 0 2	
13	小 崎 泰 子	女	名 張 市 老 連	副 会 長 兼 女 性 部 長	6 0 3	
14	伊 藤 弘	男	伊 勢 市 老 連	会 長	6 0 2	
15	小林 千代太郎	男	鳥 羽 市 老 連	会 長	6 0 2	
16	杉 原 まち子	女	鳥 羽 市 老 連	女性委員長	6 0 3	
17	濱 田 親	女	紀 北 町 い き い き 連	女性委員長	6 0 5	
18	大 峪 やす子	女	南 牟 婁 郡 紀 宝 町 老 連	女性委員長	6 0 5	
19	菅 尾 裕 子	女	三 重 県 老 連	事 務 局 長	6 0 5	
20	北 川 香 里	女	三 重 県 老 連	事 務 局	6 0 5	
21	岡 恵 子	女	三 重 県 老 連	事 務 局	6 0 5	

【石川県老人クラブ連合会】15名（男 9名・女 6名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	千 場 昌 明	男	県 老 連	副 会 長	7 0 1	
2	浦 上 光太郎	男	金 沢 市 老 連	会 長	7 0 2	
3	水 野 政 之	男	七 尾 市 老 連	副 会 長	7 0 2	
4	刀 祢 春 子	女	珠 洲 市 老 連	副 会 長	7 0 3	
5	疋 島 和 子	女	羽 咋 市 老 連	女 性 部 長	7 0 3	
6	松 本 吉 雄	男	かほく市老連	会 長	7 0 2	
7	高 林 小夜子	女	能 美 市 老 連	副 会 長	7 0 3	
8	徳 野 三知應	男	野々市市老連	副 会 長	7 0 1	
9	宮 森 俊 英	男	津幡町シニア連	副 会 長	7 0 2	
10	澤 田 徳 子	女	宝達志水町老連	女 性 部 長	7 0 3	
11	清 水 洋 子	女	中能登町老連	副 会 長	7 0 3	
12	東 嘉 秋	男	能 登 町 老 連	副 会 長	7 0 2	
13	澤 本 久	男	県 老 連	相談アドバイザー	7 0 1	
14	山 崎 一 郎	男	県 老 連	事 務 局 長	7 0 1	
15	青 木 郁 子	女	県 老 連	事 務 局	7 0 3	

【名古屋市老人クラブ連合会】 18名（男10名・女 8名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	犬 飼 鏝 治	男	名古屋市老連	会 長	1 1 0 5	
2	池 村 ヨリ子	女	千 種 区 老 連	理事兼女性 リーダー会長	1 1 0 2	
3	落 合 美 鶴	女	東 区 老 連	女性リーダー 代 表 理 事	1 1 0 2	
4	太 田 幸 子	女	北 区 老 連	女性リーダー 副 会 長	1 1 0 2	
5	山 根 二三男	男	西 区 老 連	会 計 監 査	1 1 0 3	
6	説 田 由美子	女	中 村 区 老 連	理 事	1 1 0 2	
7	宇 野 房 代	女	中 区 老 連	副会長兼女性 リーダー会長	1 1 0 2	
8	新 美 富美子	女	昭 和 区 老 連	副 会 長	1 1 0 2	
9	玉 上 善 彦	男	瑞 穂 区 老 連	堀 田 学 区 老 連 会 長	1 1 0 3	
10	山 下 博	男	熱 田 区 老 連	理事兼体育 委員会副委員長	1 1 0 3	
11	早 川 正	男	港 区 老 連	副 会 長	1 1 0 3	
12	田 口 欽 郎	男	南 区 老 連	会 長	1 1 0 5	
13	浅 井 保 司	男	守 山 区 老 連	会 長	1 1 0 3	
14	加 藤 孝 己	男	緑 区 老 連	副 会 長	1 1 0 5	
15	藤 井 幸 栄	女	名 東 区 老 連	女性リーダー 会 長	1 1 0 2	
16	小 貝 由美子	女	天 白 区 老 連	女性リーダー 副 会 長	1 1 0 2	
17	田 中 裕 三	男	名古屋市老連	事 務 局 長	1 1 0 5	
18	中 島 聡	男	名古屋市老連	主 査	1 1 0 5	

【福井県老人クラブ連合会】51名（男27名・女24名）

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	三 上 利 明	男	県 老 連	会 長	7 0 5	
2	西 川 征 男	男	県 老 連	副 会 長	7 0 5	
3	森 田 一 昭	男	県 老 連	副 会 長	7 0 5	
4	歸 山 美智栄	女	県 老 連	副 会 長 兼 女性委員長	9 5 7	
5	井 上 美智子	女	県 老 連	評 議 員 兼 女性副委員長	9 5 7	
6	廣 部 重 紀	男	福 井 市 老 連	副 会 長	7 0 5	
7	松 本 幸太郎	男	敦 賀 市 老 連	副 会 長	7 0 5	
8	藤 村 公 子	女	敦 賀 市 老 連	副 会 長 兼女性部長	1 1 0 6	
9	大 井 幹 夫	男	小 浜 市 老 連	会 長	7 0 5	
10	芝 美代子	女	小 浜 市 老 連	副 会 長	1 1 0 6	
11	吉 田 純 永	女	小 浜 市 老 連	副 会 長	1 1 0 6	
12	金 森 閱 治	男	大 野 市 老 連	会 長	7 0 6	
13	飯 田 賢 治	男	大 野 市 老 連	副 会 長	7 0 6	
14	松 田 英 子	女	大 野 市 老 連	副 会 長 兼 女性委員	1 1 0 6	
15	村 井 やす子	女	勝山市高齢者連	副 会 長	1 1 0 6	
16	久 保 隆 保	男	勝山市高齢者連	理 事	7 0 6	
17	尾 方 則 夫	男	勝山市高齢者連	事 務 局	7 0 6	
18	夏 梅 直 美	女	鯖 江 市 老 連	理 事	1 1 0 6	
19	伊 藤 昭 栄	男	あわら市老連	会 長	7 0 6	
20	番 場 博 美	男	あわら市老連	副 会 長	7 0 6	
21	栗 原 好 美	女	あわら市老連	副 会 長	1 1 0 6	

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
22	山 本 正 男	男	越前市いきいき シ ニ ア 連	会 長	7 0 6	
23	為 沢 さち子	女	越前市いきいき シ ニ ア 連	副 会 長 兼 女 性 部 長	5 0 3	
24	金剛丸 仁	男	越前市いきいき シ ニ ア 連	若 手 委 員	6 0 6	
25	林 田 恒 正	男	坂 井 市 老 連	会 長	6 0 6	
26	寺 嶋 康 至	男	坂 井 市 老 連	副 会 長	6 0 6	
27	廣 井 富美子	女	坂 井 市 老 連	副 会 長 兼 女 性 部 長	5 0 3	
28	南 保 秀 樹	男	永平寺町老連	会 長	6 0 6	
29	清 水 八千子	女	永平寺町老連	副 会 長 兼 女 性 部 長	5 0 3	
30	和 田 高 枝	女	永平寺町老連	顧 問	—	2 日 目 参 加
31	反 保 健一郎	男	永平寺町老連	事 務 局	—	2 日 目 参 加
32	堀 口 岩 男	男	池 田 町 老 連	会 長	6 0 6	
33	森 田 美津代	女	池 田 町 老 連	女 性 副 部 長 老 人 家 庭 相 談 員	5 0 3	
34	山 内 登美子	女	池 田 町 老 連	老 人 家 庭 相 談 員	5 0 3	
35	嶋 崎 洋	男	南越前町老連	会 長	6 0 6	
36	高 谷 皓 之	男	南越前町老連	副 会 長	6 0 6	
37	田 中 恵 子	女	南越前町老連	副 会 長 兼 女 性 委 員 長	5 0 3	
38	高 橋 健 一	男	越 前 町 老 連	副 会 長	8 0 6	
39	小 辻 良 子	女	越 前 町 老 連	事 務 局	5 0 3	
40	森 久 照 雄	男	美 浜 町 老 連	会 長	8 0 6	
41	武 田 豊 晴	男	美 浜 町 老 連	副 会 長	8 0 6	

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
42	福 住 利 枝	女	高 浜 町 老 連	副 会 長 兼 女 性 部 長	9 5 6	
43	中 村 八重子	女	高 浜 町 老 連	女 性 副 部 長	9 5 6	
44	田 中 智津子	女	高 浜 町 老 連	女 性 副 部 長	9 5 6	
45	中 嶋 喜久子	女	おおい町老連	女 性 部 長	9 5 6	
46	川 島 富士夫	男	若 狭 町 老 連	会 長	8 0 6	
47	清 水 俊 彦	男	若 狭 町 老 連	副 会 長	8 0 6	
48	辻 美恵子	女	若 狭 町 老 連	女 性 部 長	9 5 6	
49	伊 勢 信 三	男	県 老 連	常務理事兼 事 務 局 長	8 0 6	
50	脇 本 睦 枝	女	県 老 連	活動推進員	9 5 7	
51	山 本 裕 美	女	県 老 連	活動推進員	9 5 7	

【全国老人クラブ連合会】

番号	氏 名	性別	所 属	役 職 名	部屋番号	備 考
1	正 立 斉	男	全 老 連	事 務 局 長	9 5 8	

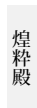
グランディア 芳泉のご案内

			12F	客室・京紫の階 1201～1207		
			11F	客室・瑠璃の階 1101～1106		
			10F	客室・群青の階 1001～1008		
			9F	客室・緑青の階 951～ 958		
			8F	客室・萌黄の階 801～ 806		
			7F	客室・山吹の階 701～ 706		
			6F	客室・琥珀の階 601～ 606		
5F	コンベンションホール 「グランディアホール」		18 天上のSPA 月の湯 星の湯 17 リラクゼーション コーナー「なごみ」	客室・撫子の階 501～ 507 中宴会場「瑞雲」 会議室「美山」 会議室「白山」		
4F		直通エスカレーター	さくら亭SUITE 450～462	宴会場「阿伝」		
3F	16 レストラン「季の蔵」	エレベーター	さくら亭なごみ 350～362	大宴会場「大輪」		
2F	13 セルフジム、リモートワーク室 11 クラブ「シャンボール」 10 カラオケバー「歌酒場」 9 カラオケルーム「カレン」		露天風呂付 客室 281～293	12 ダイニング「福楽」 15 麻雀ルーム 中宴会場「詩仙」「歌仙」「一茶」	客室 250～263 露天風呂付客室 265 大宴会場「寿楽殿」 14 ここみち亭専用ラウンジ	
1F	1 ショッピングモール「花春秋」 玄関・フロント・ロビー		露天風呂付客室 171～180 玄関 6 個止吹気亭専用ラウンジ 7 料亭「ことぶき」 8 ひのき大浴場 個止吹気亭 ことぶきてい	2 ラウンジ「観月」 5 料亭「遊膳」	渡り廊下	ここみち亭
				煌粹殿 こうすいでん	4 足湯・歩行湯 「足軽の湯」 3 温泉たまり ゆで処 月見台	露天風呂付客室 150～166
					観月通り	ゆとりぎ亭



全室禁煙

おタバコは、1階ラウンジ観月前、
2階エレベーターホール前、
3階宴会場前、
煌粹殿5階エレベーターホール前の
喫煙コーナーをご利用ください。



大宴会場
大輪
340席

舞台

バー

エレベーター

螺旋階段

バルコニー

さくら亭 なごみ

357 358 360 361 362

350 351 352 353

355 356
恐竜
ルーム

レストラン
16
季の蔵

吹抜
エスカレーター

[illegible]

おタバコは、1階ラウンジ観月前、
3階宴会場前、
煌灯殿5階エレベーターホール前の
喫煙コーナーをご利用ください。

[illegible]

7F
煌輝殿

706
705
703
ITW
702
701
SVC

煌粹殿

1F
煌粹殿

1106
1105
1103
1102
1101
男
女
サービス
入口

煌粹殿

12F

1207

1206

1205

1203

1202

1201

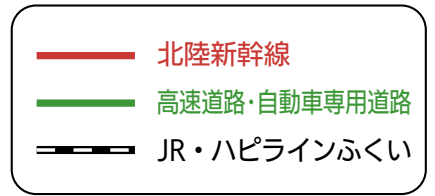
350V



大本山永平寺（永平寺町）
 ※写真提供「大本山永平寺」
 曹洞宗の開祖、道元禅師が
 1244年に開いた修行道場



東尋坊（坂井市）
 足がすくむほどの断崖絶壁が
 1 kmにも及ぶ柱状節理



天空の城越前大野城（大野市）
 朝霧にそびえ城下を望む
 幻の天空の城



一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）
 越前の国を支配した
 戦国大名朝倉氏の城下町跡



紫式部公園（越前市）
 紫式部が唯一都を離れて
 暮らした越前国府



青葉山の夕日（高浜町）
 美しい山容から別名「若狭富士」と
 呼ばれる青葉山



三方五湖（美浜町・若狭町）
 水質や水深が違い、すべて濃さの
 違う青色に見える「五色の湖」



氣比神宮（敦賀市）
 日本三大木造大鳥居に選ばれた
 朱色の大鳥居